

公開セミナー

最新の教育課題を幅広く扱い、専門家の方々からお話を伺います。
すべてオンライン開催で、県外の方も参加可能です。日程の横の二次元コードからお申し込みください。
同一日に二つの回を設定しました。各日程に登録すると二つの回に参加できます（一つだけの参加も可）。

2024年1月20日（土）

第1回

学校のルールをどうつくるか

13:00～
14:40

—生徒との対話と改訂生徒指導提要—

講師：山本 晃史氏（認定NPO法人カタリバ）

新しい生徒指導提要は、「こども基本法」（2023年4月施行）に触れながら、校則の見直しにあたって、子どもたちの意見を聞いたり児童会・生徒会で議論したりすることの教育的意義について述べています。全国の学校で、子どもたちや先生と一緒に「ルールメイキング」のプロジェクトを進めているNPO法人カタリバの山本晃史さんから、そのプロセスと意義についてお聞きします。

申込Form



申込締切
1月12日（金）

第2回

デジタル社会におけるさまざまなリテラシー

15:00～
16:40

—予測困難な時代を生きるチカラ—

講師：森本 洋介氏（弘前大学教育学部准教授）

VUCA時代とも呼ばれる、すぐ先の未来ですら起こることが予測困難な時代に私たちは生きています。その原因のひとつがデジタルメディアやAI（人工知能）といったテクノロジーの急速な発達です。メディアからもたらされる情報や、テクノロジーによる社会の変化を読み解くための能力であるさまざまな現代のリテラシーについて、メディア・リテラシー教育を専門とする弘前大学教育学部の森本准教授にお聞きします。

2024年2月3日（土）

第3回

子どもの回復力を育てる

13:00～
14:40

—学校で活かすストレス・マネジメント—

講師：藤江 玲子氏（弘前大学教職大学院准教授）

人は、生きていく中でさまざまなライフイベントに出会います。また、時に対人関係上の問題や家族の問題、社会経済的問題などを抱えます。そのような中で、ストレスと上手につきあい、回復する力を育むことは、子どもの発達を支えるとともに、不登校・いじめ・暴力・自殺といった課題を予防するためのプロアクティブな生徒指導としても重要と言えます。この講座では、認知行動療法に基づくストレス・マネジメントを学校で活用する方法について、藤江准教授にお聞きします。

申込Form



申込締切
1月26日（金）

第4回

ヤングケアラーにどう対応するか

15:00～
16:40

—これからの福祉との連携—

講師：最上 和幸氏（青森明の星短期大学教授）

教師として子どもたちと向き合う中で、目の前の子どもたちの後ろに困難な家庭の状況が垣間見える時があると思います。でも、家庭のことにどう対応したらいいのか、悩まれている先生も少なくないでしょう。福祉行政に長く携わり、弘前大学「子どもの貧困をめぐる協働プロジェクト」でヤングケアラー問題などに取り組まれてきた最上教授に、連携を図る上でポイントとなる福祉の視点について伺います。

弘前大学教職大学院HPの研修講座一覧 (<https://www.edu.hirosaki-u.ac.jp/gs/application-form.html>) からもお申込みいただけます。
HPの研修講座一覧から、「令和5年度公開セミナー」を選択し、チラシ下の「申込はこちら」のボタンをクリックして、申込フォームに接続してください。

お問合せ先 弘前大学教職大学院 吉田美穂
TEL：0172-39-3398
Email：m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp

主催 弘前大学教職大学院
教職員支援機構（NITS）
共催 青森県教育委員会